

大 野 岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和6年10月2日発行 文責 校長 中尾 聡彦

地域と共にある学校「南波多郷学館」

秋は、様々な行事が計画され、本校の子どもたちもいろいろな出番をいただいています。

16日(月)には、南波多町敬老会が行われました。南波多町には、77歳以上の方が394名、100歳以上の方が5名いらっしゃるということでした。私も参加させていただきましたが、コミュニティセンターまでの歩きながら、「久しぶり！元気にしとったや？」という会話が聞かれました。また、会場は笑顔にあふれ、会話もはずんでいらっしゃいました。戦後の厳しい時代を真面目に生き抜いてこられた方々が、年をとっても絆を大事にされている姿に感動したところです。

余興では、本校の松尾海亜さん(5年生)と田代多瑛さん(9年生)が、おじいさんやおばあさんに向けて感謝の気持ちを述べてくれました。飾らない言葉で、「おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとう」という気持ちが会場の方々にも届き、心あたまる時間になりました。その後は、南波多保育戦の園児による踊りと歌の発表があり、参加者の笑顔が会場中に広がりました。

本校は、福寿会の方に「南波多こども教室」で昔遊びなどを教えていただいています。12日には、第1回目の活動がありましたが、子どもたちとの交流を通して楽しい時間を過ごしていただきました。

また、先日は、子どもたちがたくさん本を読むようにと多額の図書カードをご寄附いただきました。この方は、毎年ご寄附いただいており、おかげさまで子どもたちも多くの本に囲まれて学校生活を送ることができています。心から感謝申し上げます。

それから、13日(金)には、育友会の役員会がありました。今回は、各部の活動報告と、今年度市連Pで取り組むことになっている「子どもたちのための働き方改革」について協議がなされました。その中で、樹木剪定などの環境整備の話になりましたが、すぐに期日を決め計画していただきました。育友会の学校への思いをありがたく感じたところです。

このように、地域の方々の学校に対するあたたかい思いや南波多町のよさを感じた9月でした。



9年生の修学旅行 ～南波多郷学館の新しい伝統～

9年生の修学旅行が9月18日(水)～20日(金)の2泊3日で行われました。

スローガンを「伸和(しんわ)～おいたちのmemory & history～」と定めて修学旅行に臨みました。

1日目に訪れた「知覧特攻平和会館」では、戦争の現実や自分たちと近い年代の方々の様々な思いにふれ、平和について真剣に考えることができていました。「知覧特攻平和会館」や「三角兵舎」を巡る生徒たちの姿は真剣そのもので、生徒たちが感じたことは容易に言葉で表現することができないものだと思います。その思いをこの先ずっと大切にして欲しいと思いました。

2日目の自主研修では、自分たちが計画したプランに沿って、みんなで協力しながらゴールにたどり着くことができました。

3日目は、グリーンランドで、9年生というかけがえのない仲間とこれまでにない楽しい時間を過ごしていました。

この2泊3日の修学旅行では、実行委員会の手で「南波多郷学館の新しい伝統」が生まれました。それは、教師や保護者等の大人の力を借りることなく、自分たちの力だけで修学旅行を行うというものです。その中の一つとして、持ち物などのルールの厳守がありました。今年から出発前の持ち物のチェックを廃止しました。このことは、実行委員会のやり遂げたいという強い思いと、それを信じ切る教師との信頼関係があっただけで成り立つものです。自分は、他校では難しくても、本校であればできると信じていました。また、見学先での点呼や班長会議での反省、班員への指示等も全て生徒たちで行うことができました。

「自分たちの郷学館は自分たちで創る」という意識が根付き、生徒自身の手で郷学館が創られていく様子を間近で見ることができ嬉しい思いでいっぱいになりました。

9年生のみなさん、あと半年で、この新たな伝統を8年生をはじめ全校に残してってください。



アスリート派遣事業で元中日ドラゴンズ石川駿さんが来校

スポーツ庁の事業に応募したところ、9月25日(水)に元中日ドラゴンズでプレーされていた石川駿さんに来校していただきました。7～9年生が2時間、野球に似た「ティーボール」という競技を楽しみました。気さくに生徒と話していただきながら、生徒たちも元プロ野球選手と交流しました。そして、最後に体育館で質問に答えていただき、夢と目標を持つことの大切さを語っていただきました。校長室で話す中で、「ずっと続けられることを目標として続けていくことが大切です。例えば、毎日石ころを10個拾うとなると難しいが、一つだとどうでしょう。続けていくことが大切です。」と話されました。

中学校駅伝競走大会

9月27日(金)、快晴の下、いまり夢みさき公園で中学校駅伝競走大会が行われました。

まずは、この大会に向けて、酷暑の中、練習に励んできたすべての生徒に拍手を贈りたいと思います。また、今年から、保護者会を組織していただき、国見台陸上競技場で練習や、大会会場での試走等々を支援していただきました。保護者会の皆様に感謝申し上げます。

結果は以下のとおりですが、陸上部がない本校の規模では大健闘だと思います。

生徒には、酷暑の中の練習から得たものがあると思います。また、1本のタスキをつなぐことで得たものがあると思います。ロードレース、駅伝共に素晴らしい走りを見せてもらいました。ありがとうございました。そして、お疲れさまでした。

【結果】 駅伝：男子10位、女子6位

ロードレース(10位以内)：女子9位(井手穂端菜)